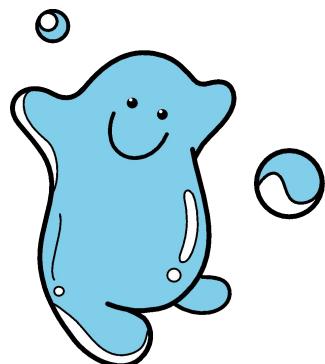


資料	水-1
作成	水道局総務部
提出	令和8年1月22日

令和6年度決算の概要

札幌市水道局

令和6年度 決算の概要



ウォッピー

札幌市水道局公式キャラクター

令和8年（2026年）1月22日
札幌市水道局

目 次

1	収益的収支	・	・	・	・	・	・	P 1
2	資本的収支	・	・	・	・	・	・	P 2
3	資金残高	・	・	・	・	・	・	P 3
4	決算額の推移（5年間）	・	P 4					
5	業務量	・	・	・	・	・	・	P 5
6	主要事業の概要	・	・	・	・	・	・	P 6
	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	・	・	・	・	・	・	P 7
	(2) 石狩西部広域水道企業団への参画	・	・	・	・	・	・	P 8
	(3) 白川浄水場改修事業	・	・	・	・	・	・	P 9
	(4) 白川第1送水管更新事業	・	・	・	・	・	・	P 10
	(5) 配水管更新事業	・	・	・	・	・	・	P 11
	(6) 配水施設耐震化事業	・	・	・	・	・	・	P 12
	(7) 配水幹線連続耐震化事業	・	・	・	・	・	・	P 13
	(8) 災害時重要管路耐震化事業	・	・	・	・	・	・	P 14
	(9) 水道事業に対する理解促進	・	・	・	・	・	・	P 15
	(10) 札幌水道を支える人材の育成	・	・	・	・	・	・	P 16
	(11) 環境に配慮した事業運営の推進	・	・	・	・	・	・	P 17

1 収益的収支～水道事業の運営に関する収支

- 収益的収支は、1年間の企業の経営活動に伴い発生する「収益」と「費用」からなり、企業の経営成績を表すもの。
- 主に、収入の大部分を占める給水収益と、施設の運転やその管理費など、事業を運営するための費用である運営管理費等からなる。
- 令和6年度決算の収支差引は108億円の黒字（消費税抜の純利益は87億円）となった。

(消費税込、単位：億円)

区分	予算①	決算②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備考
収益的収入 A	464	473	9	1.9%	
営業収益	うち給水収益	415	418	3	0.6%
収益的支出 B	387	365	▲ 23	▲ 5.8%	
営業費用	うち運営管理費	208	187	▲ 21	▲ 10.0% 請負工事費、委託料等の減
	うち減価償却費等	131	130	▲ 1	▲ 0.6%
営業外費用	12	12	0	0.0%	
差引 A-B	77	108	31	40.5%	消費税抜の純利益は87億円

※内訳は主な項目のみ記載している。また、各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※予算は現計予算（当初予算に前年度からの繰越額や流用増減等を加味した額）である。

2 資本的収支～設備投資とその財源に関する収支

○ 資本的収支は、公営企業の将来の経営活動に備えて行う施設の建設・改良等の事業費や、建設改良に係る企業債償還金などの支出及びその財源となる企業債等の収入を表すもの。

○ 令和6年度決算の収支差引は231億円の収支不足となった。

(消費税込、単位:億円)

区分	予算①	決算②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備考
資本的収入 C	94	78	▲ 16	▲ 17.3%	
うち企業債借入	60	45	▲ 15	▲ 25.0%	企業債借入の抑制による減
うち出資金	19	18	0	▲ 1.7%	石狩西部広域水道企業団における事業費の減
資本的支出 D	334	309	▲ 25	▲ 7.5%	
うち建設改良費	257	234	▲ 24	▲ 9.2%	契約差金の発生による減
うち企業債償還金	58	57	▲ 1	▲ 1.7%	令和5年度の企業債借入額抑制による減 令和6年度末の未償還残高は493億円
差引 C-D	▲ 240	▲ 231	9	3.7%	

※内訳は主な項目のみ記載している。また、各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

3 資金残高

○ 資金残高は、外部に流出せずに企業内部に残っている資金の額を表すもの。

○ 令和6年度末の資金残高は119億円である。

(消費税込、単位：億円)

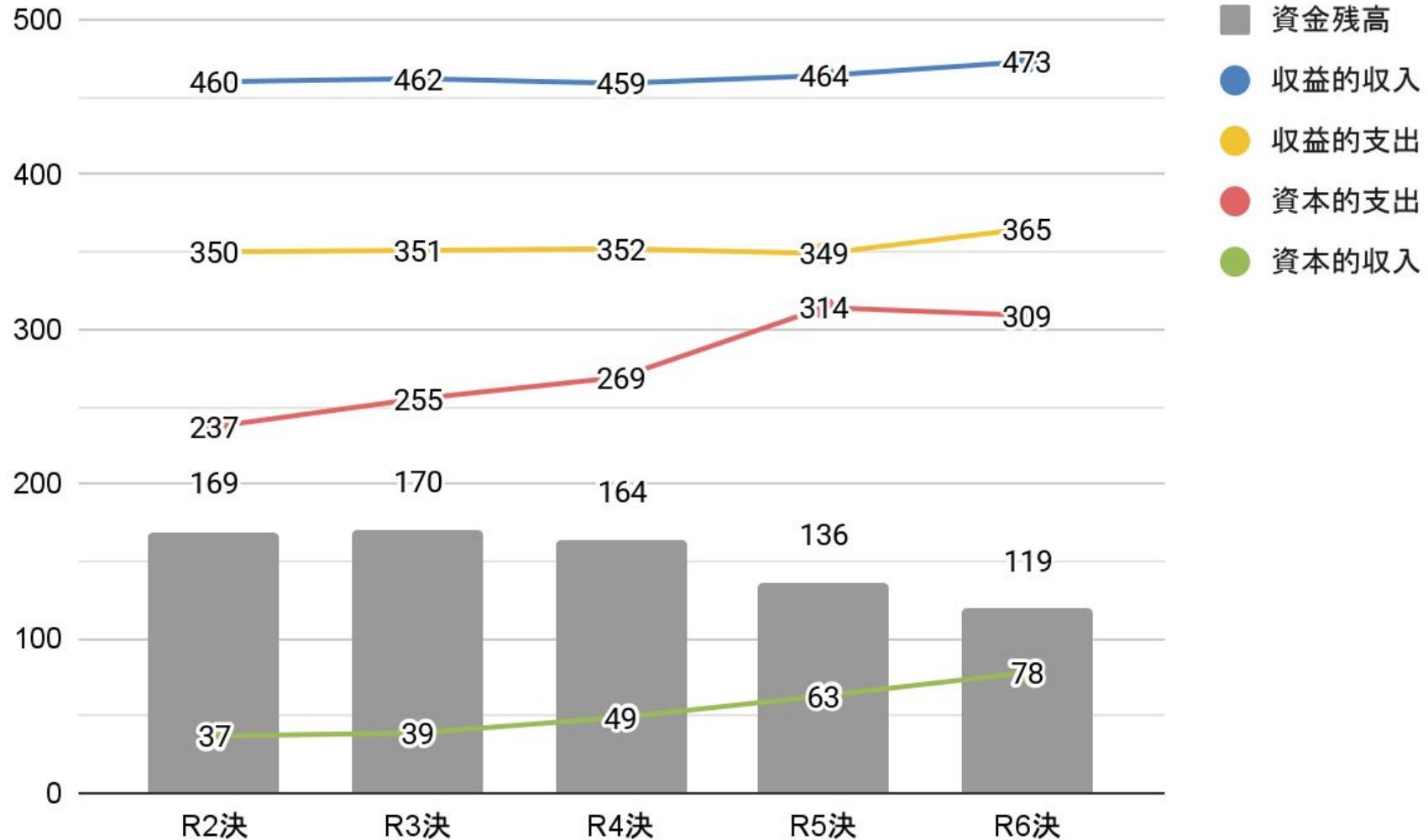
区分	予算①	決算②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備考
当年度資金収支 E	▲ 59	▲ 17	42	71.5%	
収益的収支差引	77	108	31	40.5%	水道事業の運営に関する収支
資本的収支差引	▲ 240	▲ 231	9	3.7%	設備投資とその財源に関する収支
当年度分 損益勘定留保資金等	104	106	2	1.8%	減価償却費等の非現金支出の費用による 内部留保資金
過年度分内部留保資金 F	136	136	0	0.0%	過年度から繰り越された資金
合計（資金残高）E + F	77	119	42	54.5%	
水道施設更新積立金	44	44	0	0.0%	老朽施設更新のために積立している資金
上記以外の額	33	75	42	127.2%	翌年度以降の建設改良費の財源

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※予算は前年度の繰越を含めた額であり、過年度分内部留保資金は令和5年度決算置換後の額である。

4 決算額の推移（5年間）

（消費税込、単位：億円）



※各項目ごとに四捨五入している。

5 業務量

区分		6年度決算 A	5年度決算 B	比較	
				増減△ A-B=C	増減率 (%) C / B
人口等	給水区域内人口 (人)	1,962,649	1,964,296	△ 1,647	△ 0.1
	給水人口 (人)	1,961,378	1,962,954	△ 1,576	△ 0.1
	普及率 (%)	99.9	99.9	0.0	—
水量等	年間配水量 (m³)	191,430,820	191,203,450	227,370	0.1
	1日平均配水量 (m³)	524,468	522,414	2,054	0.4
	年間有収水量 (m³)	179,044,933	179,149,151	△104,218	△ 0.1
	有収率 (%)	93.5	93.7	△ 0.2	—
年度末給水件数 (件)		919,303	912,733	6,570	0.7
年度末配水管布設延長 (m)		5,962,795 (6,102,785)	6,097,390	△134,595 (5,395)	△ 2.2 (0.1)

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※令和5年度決算までは、送水と配水の両機能を有する管を配水管として区分していたが、令和6年度決算から、これらの管を送水管として区分し直したため、「年度末配水管総延長」が変更になっている。カッコ内は従来の区分による値である。

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目		主な事業	事業費
1	水源の分散配置と水質の安全性の向上	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	3,913
		(2) 石狩西部広域水道企業団への参画	2,419
2	施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(3) 白川浄水場改修事業	3,357
		(4) 白川第1送水管更新事業	50
		(5) 配水管更新事業	8,211
		(6) 配水施設耐震化事業	275
		(7) 配水幹線連続耐震化事業	2,754
		(8) 災害時重要管路耐震化事業	592
3	利用者とのコミュニケーションの充実	(9) 水道事業に対する理解促進	28
4	経営基盤の強化と連携の推進	(10) 札幌水道を支える人材の育成	9
5	エネルギーの効率的な活用	(11) 環境に配慮した事業運営の推進	11

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	3,913

【事業内容】

豊平川上流域における水質悪化の要因（自然湧水に含まれるヒ素など）を、水道原水から取り除くため、バイパス水路を用いて白川浄水場取水地点の下流にバイパス・放流し、より良質な水を浄水場で取水可能にする。

管理センター

放流水の水質・水圧を調整する施設



フロック形成池・沈殿池

凝集剤によりフロックを形成し、沈殿させる施設



天日乾燥床

濃縮した汚泥を天日乾燥する施設



玉川橋取水堰

自然湧水を含む河川水を取水する施設

定山渓地区

定山渓水再生プラザ

ヒ素等含む自然湧水

豊平川

砥山ダム

白川浄水場

白川浄水場

取水地点

バイパス水路（約10 km）

取水した水を浄水場取水地点の下流へう回（バイパス）

豊平峡ダム

凡例

整備済

R 6 施工箇所

R6 : 管理センター、フロック形成池・沈殿池設備、天日乾燥床新設工事 ほか

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	(2) 石狩西部広域水道企業団への参画	2,419

【事業内容】

水源の約98%を依存する豊平川以外に安定した水源を確保し、分散配置するため、当別ダムを水源として水道水を供給する石狩西部広域水道企業団に参画する。



R6：当別浄水場浄水処理施設増設工事
札幌ポンプ場新設工事ほか

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(3) 白川浄水場改修事業	3,357

【事業内容】

耐震性能が不足しているとともに経年劣化が進んでいる既存浄水棟を段階的に改修する。改修は既存浄水棟の浄水処理を停止して行う必要があり、停止時に低下する給水能力を補うため新たに第4浄水棟を先行して建設する。



6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(4) 白川第1送水管更新事業	50

【事業内容】

経年劣化が進み、耐震性も不足している白川第1送水管を、耐震管を用いて更新する。



R6：実施設計業務、路線測量業務ほか

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

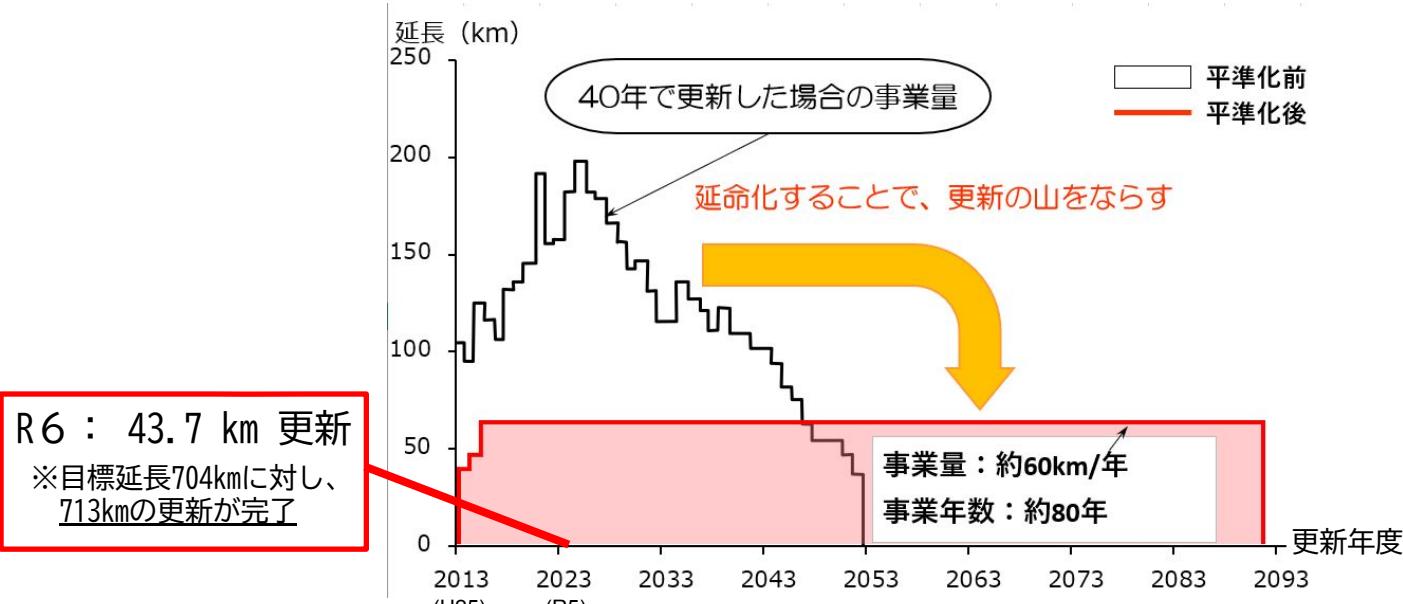
重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(5) 配水管更新事業	8,211

【事業内容】

配水管（口径75mm～350mm）の経年劣化による漏水リスクの軽減を目的に管路の更新を進めている。また、更新の際には耐震管を布設することにより耐震化も進めている。

【配水管更新計画の考え方】

配水管の延命化と事業量の平準化を図りながら、約60km/年で更新を実施
※目標延長：H25～R6（12年間）で、704kmの配水管を更新



管路の延命化・事業量の平準化のイメージ

6 主要事業の概要

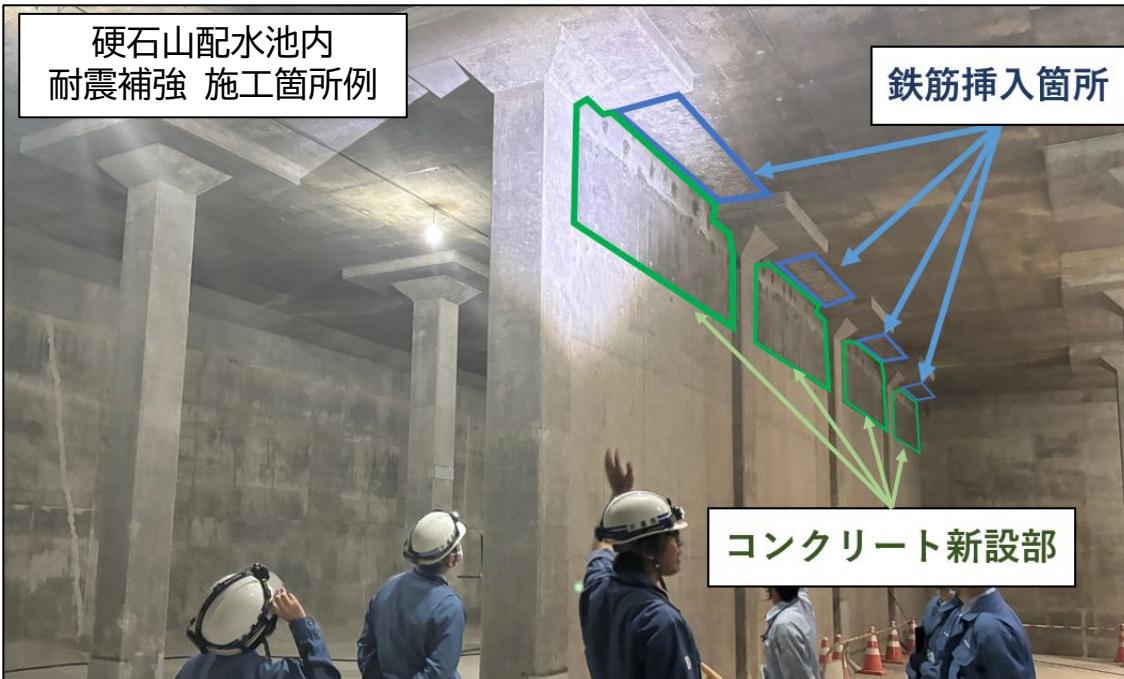
(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(6) 配水施設耐震化事業	275

【事業内容】

地震による配水施設の被害を最小限に抑えるため、耐震性能が不足している配水施設の耐震化を行う。

硬石山配水池内
耐震補強 施工箇所例



鉄筋挿入箇所

コンクリート新設部

※写真記載部以外にも
壁部分等に鉄筋挿入を実施

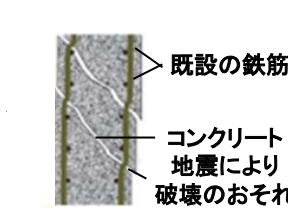
硬石山配水池 (R5~7)

・硬石山配水池の耐震改修工事の実施

【コンクリート構造物の耐震補強】

〔鉄筋挿入による補強〕

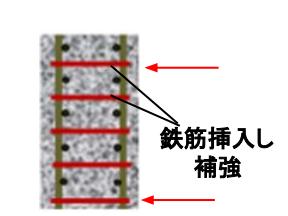
＜施工前＞



既設の鉄筋

コンクリート
地震により
破壊のおそれ

＜施工後＞



鉄筋挿入し
補強

〔鉄筋挿入施工状況〕

削孔

鉄筋を挿入

コンクリートの内部に鉄筋が配置されてない
位置に削孔して、補強鉄筋を挿入する

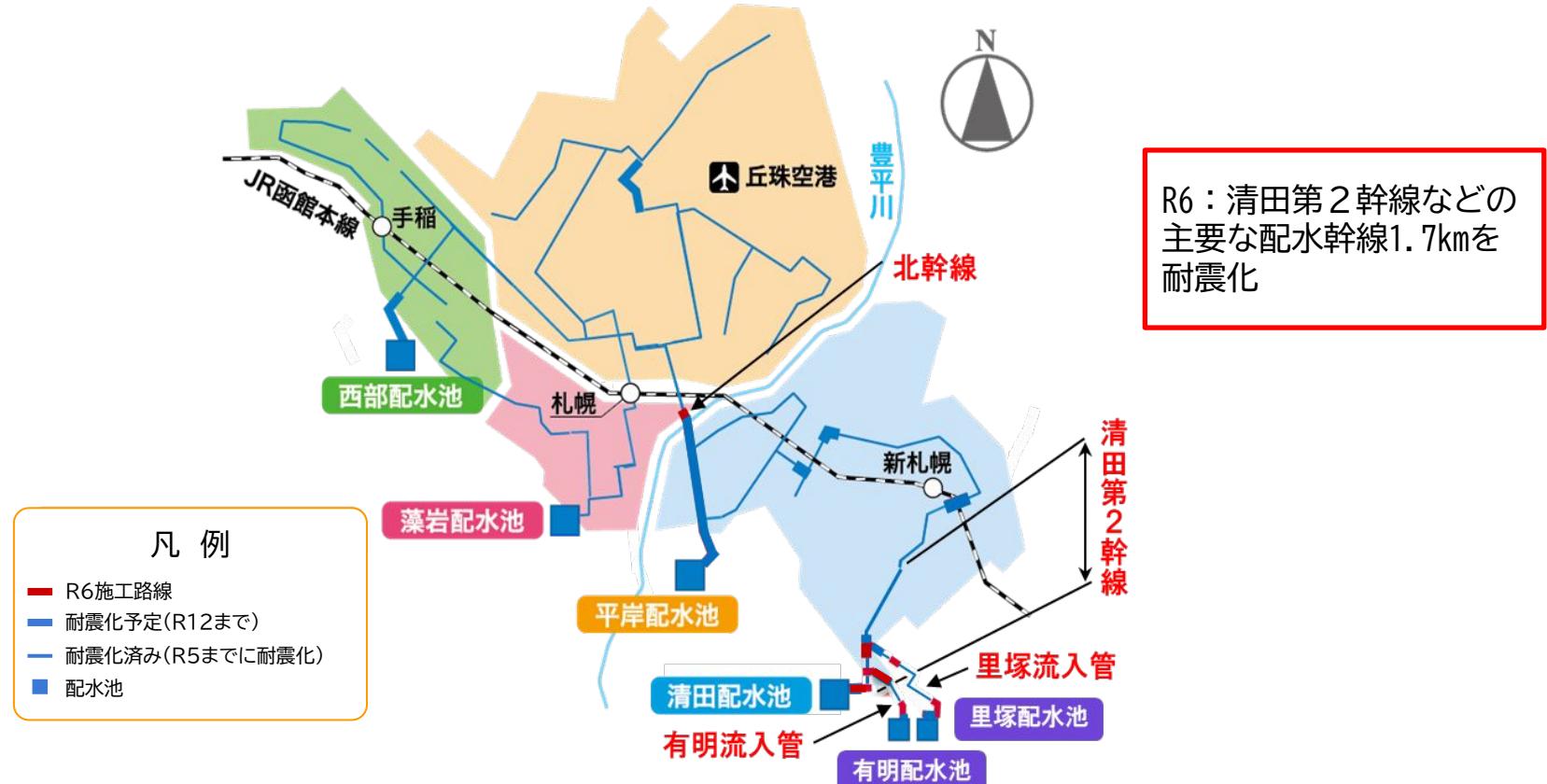
6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(7) 配水幹線連続耐震化事業	2,754

【事業内容】

4つの基幹配水池（平岸、藻岩、西部、清田）からそれぞれの配水区域末端までをつなぐ基幹となる配水幹線（口径400mm以上）を切れ目なく耐震化し、災害時においても継続的な配水を可能とする。



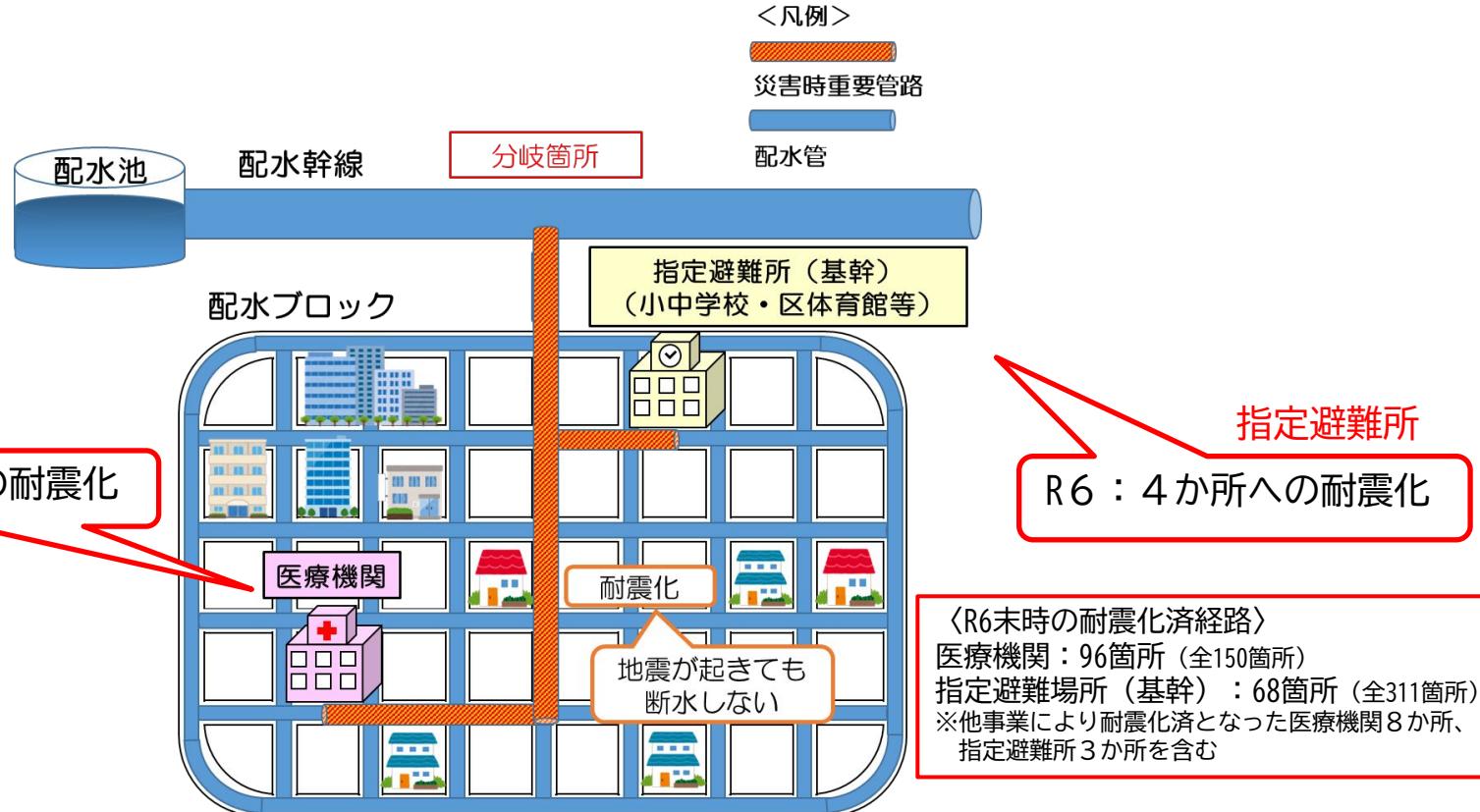
6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	(8) 災害時重要管路耐震化事業	592

【事業内容】

災害時における重要施設である医療機関や小中学校などの指定避難所（基幹）へ向かう配水管の耐震化を行う。



6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
3 利用者とのコミュニケーションの充実	(9) 水道事業に対する理解促進	28

【事業内容】

札幌の水道水のおいしさをPRするほか、水道事業への理解を深める取組を進めることで、利用者に満足され、信頼される水道を目指す。

○水道事業のPRイベント 事業費：12百万円

9,325人が参加（2日間）



北3条広場でのイベント 9/7~9/8 (LOVE SAPPORO WATER MATSURI)

○きき水体験の実施 事業費：12百万円

16,699人が参加（計6回）



水道記念館や地下歩行空間等で利き水体験を実施（計6回）



○水道凍結防止キャンペーン 事業費：4百万円

インパクトのあるグラフィックとキャッチコピーで、凍結防止対策の啓発を実施。



地下鉄大通駅を水道凍結防止ポスターでジャック1/20~2/2

WEB広告

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
4 経営基盤の強化と連携の推進	(10) 札幌水道を支える人材の育成	9

【事業内容】

水道事業の運営に必要な知識・技術を次世代の担い手に確実に継承していくため、職員研修の実施や研修資料の整備を行うほか、各種資格取得者を計画的に確保する。

職員研修体系	概要	例	令和6年度	令和6年度	実施状況	
			実施回数	延べ受講者数		
内部研修	職場研修(部内・課内)	課内/部内の職員を対象に日常業務を通じて計画的かつ継続的に実施する研修	工事現場見学、転入職員向けお客様対応研修等	897回	6,232人	净水場見学
	局内研修	局職員を対象に一般に共通する事項に対し実施する研修	転入新規採用職員、局内研究発表会等	61回	707人	
	委託・派遣研修	国、地方公共団体、民間企業などの外部組織が主催する研修や講演会	水道施設耐震技術研修会、水質分析機器操作研修等	52回	100人	動画教材を作成
	資格取得	各種法定資格者等を計画的に確保・養成するための、講習受講や試験受験	第1種衛生管理者、準中型自動車免許、廃棄物処理施設技術管理者等	49回	110人	
	局外研修	札幌市総務局自治研修センターで実施する研修や他部局が主催する研修	新規採用職員後期研修等	113回	1,761人	

6 主要事業の概要

(消費税込、単位：百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
5 エネルギーの効率的な活用	(11) 環境に配慮した事業運営の推進	11

【事業内容】

低炭素社会の実現に向けて、水力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める。

